

コントロールデバイス その② フライトシミュレータの楽しみ方

今回の「フライトシミュレータの楽しみ方」は、前回に引き続き「コントロールデバイス」についてご紹介いたします。今回で紹介するコントロールデバイスはマニア垂涎的、「グ



写真1

レアシールド」を模したAPコントロールデバイス「AP-5S」(写真1)です。このデバイスも前回の「スロットルTM-1」(写真2)と同様にフライトシミュレーター専門ショップ ファイナルアプローチ <http://www.final-approach.co.jp/> で取り扱われている「ファイナルテック」の製品です。

グレアシールドとは、コックピットの中央前面、上方に配置されたオートパイロット(FMS)操作パネルのことで、オートパイロットの操作はほとんどがこのパネル上で行われているのです。(写真3) 旅客機などの大型機は上空での飛行中、ほとんどがオートパイロットを使って飛んでいます。最近のハイテク機ではコンピューターやGPSを使って、決められたコース、高度を正確にオートパイロットがトレースできるようになっているのです。グレアシールドにある操作盤にはこれらのオートパイロットをコントロールするためのスイッチが配列されていて、パイロットは飛行中の方位を変更したり、高度を変える時には、このグレアシールドのつまみを動かすことによって飛行機

を任意の方向へと動かしているのです。「フライトシミュレータ」でも、このグレアシールドは表現されていますが、画面上ですからマウスにてクリックするという操作方法が現実感にやや欠けていると感じるフライトシミュレータファンは多いのではないのでしょうか。



写真2

今回で紹介する「AP-5S」はこのグレアシールド盤の操作を画面上でなく、コンパクトにまとめられた実際の操作盤で行えるコントロールデバイスなのです。

パソコンへの接続は至って簡単で、USBにてパソコンに繋げるだけです。設定は製品に付属しているCD-ROMから操作盤の設定を行うためのテキスト文章をfs9cgilに追記するだけでOKです。この操作はやや難しい面もありますが、スロットルの時と同様に販売元のファイナルアプローチが充分にサポートしてくれます。

操作感はスロットル同様にすばらしく、「ヘディング」や「高度」のスムーズな変更が可能でなく、それぞれのカチカチと動くつまみ等は製作者の作りこみを感じさせる製品となって



写真3

います。スイッチの反応もスムーズでこの手の製品では、スイッチの反応が遅くなりがちですが、「AP-5S」はそのような挙動の遅れもなく、安心して使用できる製品と言えるでしょう。ジョイスティックやTM-1のようなスロットルとの同時併用もほとんど問題なく使用できるようです。

ジョイスティック、スロットル、そしてこのAP-5Sがフライトシミュレータファンの三種の神器といえるかもしれません。

残念ながらこの製品も絶版になっていますが、興味ある方は販売元のファイナルアプローチにお問い合わせ頂いてみてはいかがでしょうか。

長らく、お読みいただきました、「フライトシミュレータ入門」も、今回で最終回となりました。始めたばかりの初心者の方から、ヘビーユーザーの方まで有意義な情報をお届けしてきたつもりですがいかがでしたでしょうか？ 今後ご質問等はウエルフェアマガジン編集部宛にお送り頂ければ幸いです。